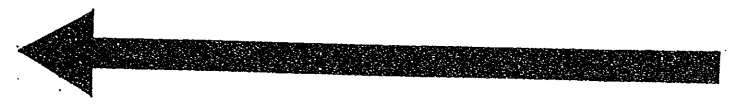




A 1

265



明治九年三月發兌

吉見重三郎著

學校
必用

連語解

京都書林

花說堂
尚古堂
藏



連語解

連語解第一

西京 吉見重三郎 著

神^シ 人^ジ 天^テ 地^チ

天地ノ主宰ニシテ蒼生ノ万物ニ洞徹シ
 陰陽不測天祖靈明ノ徳ヲ称スル也
 万物ノ長トシテ世界ノ有情ニ長上タル
 也人ニ聖賢アリ昏愚アリ是賦稟ト教ト
 學不學トニヨルナリ
 陰陽ノ基原ニテ陽ハ天ニ配シ陰ハ地ニ
 配ス又乾坤ト云フ國土ノ万物ヲ覆載シ

連語解

万物

主宰

善道

信義

祖父

蘊化育養スルナリ

國土一切ノ生産スル所ノ群類ヲ云フ則

千人間ヨリ禽獸魚蟲草木等ナリ

一切生産ノ種類ニ君長トシテ万物ヲ保

護示令スルナリ

純順善ノ道ニテ横逆ノ惡シキナキ也

是修身齊家ノ基礎ナルナリ

直心律義ヲ本トシ欺キ誑カシ諂ヒ諛ル

虛妄ノ心ナキナリ

親ノ父ヲ稱スルナリ

祖母

祖父

母

伯父

叔父

伯母

叔母

親

母ノ母ヲ稱スルナリ
父親ヲ云フ則チ慈善ノ養育ヲ蒙リタル
叡徳ノ高大ナル天ニ譬フ
母親ヲ云フ懐胎ノ内出胎ノ後悲愛ノ愍
念ヲ受タル恩惠ノ深長ナルハ地ニ喩フ
父ノ兄弟ヲ云フ
母ノ兄弟ヲ云フ
父ノ姉妹ヲ云フ
母ノ姉妹ヲ云フ
我生育ヲ蒙リタル父母ナリ

子 兄 弟

姉 妹

親 愛

友 愛

即チ我身ナリ
 我骨肉同胞ノ已レヨリ長ズルヲ兄ト云
 ヒ已レヨリ幼ナルヲ弟ト云フ
 同胞ノ已レヨリ長ビル女子ヲ姉ト云ヒ
 已レヨリ幼ナルヲ妹ト云フ
 親ハ子ニ慈悲ノ愛ヲ加ヘテ善道ヲ示シ
 子ハ愛敬ヲ竭シテ孝順ナルベシ他ノ長
 幼ニ在テモ此心ヲ失フベカラズ
 兄ト為テハ謙遜ニシテ愛ヲ施シ弟トシ
 テハ孝悌ニシテ仁愛ニ恃ハラザルベシ

學 校

書 物

手 習

衆人ニ交ルモ此意ヲ持ツベキナリ

第二

生徒十年未滿ハ小學校ニ入テ規則ノ授
 業アリ茲ニ卒業ノ上ハ更ニ中學校ニ
 入テ博ク和漢洋ノ文學ニ跋渉シ次ニ大
 學ト進スルナリ
 古今ノ智者學者ノ編著シタル讀本ニテ
 是ヲ讀得テ曉スレハ吾智識ヲ增長ス
 一切ノ文字ノ形ヲ學ブナリ公私ノ用ニ
 就テ藝能ノ第一タルベシ

算術

世界ノ所有數量ヲ點檢シテ多少増減ノ分

事物文字

目ヲ計算スルナリ
道理ニ就テ事業ノ出来タル物ヲ云フ
一切ノ字ノ形ヲ云フ即チ本朝支那西洋

授業

各國ノ文字ナリ
事業ノ為スベキヲ師親ヨリ授ルナリ

午後午前 運動

晝ノ一時ヨリ晝ノ十二時迄ヲ云フ
夜ノ一時ヨリ晝ノ十二時迄ヲ云フ
氣血ヲ運ラシ身軀ヲ動シテ筋骨ヲシテ
輕捷ナラシムルナリ

遊歩

運動ノ為ニテ身心ノ屈滯ヲ整フルナリ

其處

我居ル處ノ外方ヲ云フ

此處

我居ル所ヲ云フ

何處

遠キカ近キカノ處ヲ尋テ云フ

何時

前カ今カ後カノ時問ヲ問フ

往來

先エ行ナリ又事ノ濟果シ後ヲ云フ

歸來

我家又ハ吾居ル所ニ回リクルナリ

此處

他ノ人物ヲ指テ云フ
我物ヲ指テ云フ

彼是外ノ方内ノ方他ノ物自ノ物ヲ渾メ云フ

近道ノ余程隔テタルナリ

六十間ヲ一町ト云フ

三十六町ヲ一里ト云フ

平常ニ交遊スル人ヲ云フ

親類祖先ヨリカ又我身ニ就テ内外ノ因縁ア

學問ル人ナリ

文書算術産業ヲ師親ニ學ビ問フナリ

智識智量勝レテ博識トナルナリ

家業吾カ稟得タル商法又工職ノ營ミナリ

君他人ヲ尊称シテ呼バ語ナリ

僕他人ニ對シテ自レ己ヲ謙リテ云フ辭トナリ

小兒十歳己下ノ幼ナキ者ヲ云フ

宅家屋敷ノ構ヘヲ云フ

好其事業ニ嫌ヒナク心ニ馴レ染ミタル也

富惣情ナク其事業ニ精カク盡スナリ

貨殖財産多クシテ衣食充満スルナリ

第四

地球世界ノ形體ヲ云フ

日 朔 晝 夜 今年 去年 春

朝ニ出デタニ没シ善ク世界ノ万物ニ照
 彌シ大ニ化育ノ功ヲ施ス太陽ノ體ナリ
 夜ニ出ツ冷陰ノ精ニシテ盈虧宛然タリ
 太陽ヲ補益シテ世界生産ノ物ヲ養育ス
 日出ヨリ日没迄
 日没ヨリ日出迄
 本年ヲ指テ云フ
 過前ノ年ヲ云フ
 温暖ニシテ東風吹キ草木萌芽ヲ生ジ花
 ヲ開ク
 暑溽炎熱シテ草木繁茂シ南風時ニ吹キ
 驟雨雷鳴ト催フス
 冷涼蕭颯トシテ西風吹キ草木黃落シ果
 實ヲ結ビ叢蟲鳴ク
 寒氣凝リ霜雪ヲ降シ河流涸レ泉水凍リ
 北風吹ク
 日出ノ方ヲ指テ云フ
 日没ノ方ヲ指テ云フ
 日ヲ前ニスル方ヲ指テ云フ
 日ヲ後ニスル方ヲ指テ云フ

夏 秋 冬 凍 西 南 北

暑溽炎熱シテ草木繁茂シ南風時ニ吹キ
 驟雨雷鳴ト催フス
 冷涼蕭颯トシテ西風吹キ草木黃落シ果
 實ヲ結ビ叢蟲鳴ク
 寒氣凝リ霜雪ヲ降シ河流涸レ泉水凍リ
 北風吹ク
 日出ノ方ヲ指テ云フ
 日没ノ方ヲ指テ云フ
 日ヲ前ニスル方ヲ指テ云フ
 日ヲ後ニスル方ヲ指テ云フ

風 雨 霜 雪 寒 暑 雷

空氣ノ冷暖ヲ膨脹シテ氣息ヲ交換シ人
 畜ノ呼吸及ビ草木ノ生ヲ養フナリ
 河海ノ水氣ヲ蒸騰シテ雲トナリテ雨露
 ヲ注下スルナリ
 冬天ノ寒氣ニ露ノ凝結シタルナリ
 冬天ノ寒氣ニ雨ノ凝凍シタルナリ
 陰氣凝凍シ陽和地ニ伏スルナリ
 陽炎空氣ヲ蒸蕩シ陰氣地下ニ復スル也
 陰陽ノ二氣更ニ空氣ニ激發シテ空中ニ
 奔鳴スルモノナリ

林 叢 花開 蟲鳴 穀 魚類 獸肉

樹木ノ數多アル山野ノ處分ナリ
 諸草ノ聚リ生ル處ヲ云フ
 春夏秋冬ニ生ズル草木ニ各花ヲ開ク也
 此又四季ニアリト雖多分秋ニアリ
 第五
 五穀ニテ稻麥豆粟黍等也是世界第一ノ
 植物ニシテ此ヲ耕作スルヲ農業ト云フ
 則チ一年一度植産スルヲ多分トス
 河海ノ鱗ノ類ナリ種類名分尤モ多シ
 豕豚猪牛等ノ肉類ナリ山野ノ獸類多分

野菜

アレドモ或ハ食用ニ可クアリ
蘿蔔 胡蘿蔔 蕪菁ノ青菜ニテ畑ニ作ル物

果物

ナリ多種ノ名今アリ
樹木ニ生リ結ブ果實ノ子ナリ
江河流泉山水井泉等ナリ清水ハ何レニ

水

用ヒテモ善シ濁水ハ諸用ニ悪シ
牛酪ナリ此ヲ飲メバ人ヲシテ杜健ナラ

乳汁

米ノ精汁ニテ製シタルナリ諸國ニ製多
シ亦藥酒銘酒等品種最モ許多ナリ

酒

草ノ葉ナリ畑ニ作ル慰懣ノ玩弄トシテ
細線ニ刺ミテ用ユ
身ヲ保護シ精神ヲ調和シ外邪内疾食

烟草

養身ヲ保シ精神ヲ調和シ外邪内疾食
養生ノ氣力ヲ壯健ニシテ身心安ナルナリ

健康

勉勵ムニテ心ニ緩弛ナキナリ
勤メ勵ムニテ心ニ緩弛ナキナリ

衣服

第六ノ木綿ノ織物ニテ仕立タル者ニテ
寒暑ヲ防護スル着用モノナリ

木綿

綿ヲ紡ミテ絲ト為シテ此ヲ經緯トナシ
綿ヲ紡ミテ絲ト為シテ此ヲ經緯トナシ

綿

綿ヲ紡ミテ絲ト為シテ此ヲ經緯トナシ
綿ヲ紡ミテ絲ト為シテ此ヲ經緯トナシ

テ織立シ物ナリ本朝諸國ニ製産ス

草ノ類ニテ畑ニ作ル苧ニナシ絲ニ紡ム

蠶ヨリ生スル繭ヲ絲トシ此ヲ經緯トシ

織立タル也本朝諸國ニ産製ス

絹織

羅紗緋綸等ノ獸類ノ毛ヲ以テ織タル也

單

本朝ニモ製スレドモ舶來ヲ多分トス

帷子

絹木綿ニテ一重ニ仕立タル衣服ニテ暑

中ニ着用スルナリ

麻絲ヲ以テ經緯ト為シ織立タル布ノ衣

服ナリ極暑ニ着用ス

表裏ト二重ニ合セタル衣服ニテ少シ寒

綿入

表裏ト二重ニ合セタル衣服ニテ少シ寒

襦袢

ナリ寒氣ノ時今ニ着ス

羽織

肌ニ着用スル衣服ニテ單衣半身ニ仕立

帽

タルニテ木綿ヲ用ユ

類ニテ製作ス

絹或ハ紗又ハ木綿羅紗緋綸等ニテ半身

頭ニ被ルモノ

西洋仕立ニテ毛織羅紗ノ

類ニテ製作ス

西洋仕立ニテ毛織羅紗ノ

類ニテ製作ス

西洋仕立ニテ毛織羅紗ノ

類ニテ製作ス

西洋仕立ニテ毛織羅紗ノ

袴ハカマ

腰ヨリ下部ニ着用スレ半身ノ上衣ニテ
小倉織暑寒平仙臺平又ハ絹等ニテ仕立
タル也襠高アリ平袴アリ多クハ襠高ヲ

着用ス

長靴ナガブツ

獸類ノ皮ニテ製作シタルナリ晴雨ニテ

足駄アシダ

少シ差異ノ製ヲナス
桐ノ木或ハ栗杉等ニテ臺ヲ作り下ニ齒

草履カヅリ

二枚付テ用ユ晴雨ニテ高低ノ差アリ
藁又竹籜ニテ編ミ造リタルハキモノニ
テ晴天ニ用ユルナリ

履フキ

獸類ノ皮ニテ製作スルモノナリ

第七

大工ダイク

番匠ニテ家屋亦ハ堂塔等ヲ造作スル工

左官サウカン

職ノ称ナリ
家屋ノ土壁ヲ塗ル職匠ナリ

家

材木ヲ以テ組建上ヲ瓦茅板等ニテ葺キ

人ノ住居スルニ雨露ヲ防クナリ西洋ハ

瓦石ニテ疊ミ築ク

柱ハシラ

家屋ノ下ニ建連子家ヲ保タセル材木也

是家作りノ肝要ナリ

壁

家屋ノ方隅ヲ圍ムニ竹ヲ割リ下地ヲ編

屋根

家ノ上ノ總稱ナリ

下地

壁土ヲ付ル為ニテ竹ヲ細ク割リテ作也

軒

屋根ヨリ續キ出タルナリ

中塗

荒土ニテ塗シ上ヲ好キ土ニテ塗ルナリ

上塗

白聖亦上土ヲ撰ミ塗リ上ルナリ

棚

家ノ内ニ板ヲ釘リ或ハ付テ物ヲ載セ置

押入

為ノ供用トス
衣服用具ヲ片付テ入置ク為ニ備フル也

疊

藁ヲ厚ク編ミテ床トナシ上表ヲ藺ニテ

建具

戸障子襖等ニテ家居ノ圍ニ建置ク也

木

山陸ニ生ル檜杉桐檜樟等種類尤モ多シ

瓦

土ヲ練リ形ヲ作り火ニ焼キ製ス丸瓦ト

石

云フアリ平瓦ナルアリ鬼瓦ト云フアリ

皆其形ニ因テ名付ク

自然石

切石アリ山城白川村ノ産切

石多シ又煉化石ト云フアリ西洋ノ家作

ニ多分用ユ

机

書架

墨

硯

筆

板ヲ以テ造ル上ヲ平面ニシテ足ヲ左右

ニ付ク書モノ讀本等ノ習學ノ用具也

書物卷軸等ノ類ヲ載セ置臺付ノ棚ナリ

油烟煉ヲ上品トス或ハ膠ヲ以テ黒土様

ナル物ヲ煉和シ製シタル物文字ヲ習書

スルニ用ユ價ニ依テ品ニ善惡アリ

研石ヲ以テ製ス中凹ニ穿テ墨ヲ磨ルニ

用ニ本朝諸國ニ産出シ品ニ甲乙アリ

軸ヲ細キ竹ニテ作り尖頭ニ羊兎鹿等ノ

毛ヲ先ニ付ク文字ヲ書ニ用ユ

紙

和漢
西洋

庭

池
春秋

楮ノ皮ヲ水ニ浸シ漉上タルナリ品種多

クシテ本朝諸國ニ産製ス

和ハ本朝ノ稱ニシテ漢ハ支那ヲ云フ

歐墨其外西洋ノ各國ヲ號ス

屋宅ノ構ヘノ内ノ地ニ芳草佳木ヲ栽培

シタル處ヲ云フ

庭ノ内ニ地ヲ堀リ水ヲ堪ヘルナリ

花鳥ノ人ヲ悦バシムルハ春ニ如クナ

ク風月ノ物ヲ感ゼシムル最モ秋ニアリ

年中二季ノ時候世界人間ノ好時節ナレ

景色

朝望

起 卧 餓 飽

ハ別テ暖和中分ヲ云フ

山野岡岳海陸ノ雅趣アル地又ハ草木花

葉ノ有様ヲ云フ

日出日没ノ時間ナリ

山林野園海川島嶼遊迹ノ様ヲ見渡ス也

第八

横ニ卧ス時ハ坐シ坐ス時ハ直立ス

横ニフシ寝ルナリ

飲食ニ渴ヘ空腹ニナルナリ

飲食ニ満腹ニタルナリ

賢

仁道ヲ以テ身ヲ修メ文學ヲ智アレドモ

人ニ向テ誇ラズ器量高明ナル人ナリ

心願ニシテ仁義ヲ疎ンジ善道ヲ迂遠ト

シ文學モナク利欲漆膠ノ如ク而メ貪テ

厭コトナキ者ナリ

産業貨殖衣食供給満足スルナリ

衣食供給不足ニシテ財産乏キナリ

人生四十年以上ニ長シタルヲ云フ

生年十歳マテヲ云フ乃チ小兒ナリ

聖賢智學者ノ世ヲ訓ヘ導ク文明ノ業也

富 貧 老 幼 謙 傲

問 心 覺 藝 誨

則チ克ク自ラ修習シ亦人ニ誨ラナス也
 師親先達ニ義理ヲ尋子不審ヲ明ニシ又
 不知ノ分ヲ請ヒ問テ其理ヲ聞クナリ
 文學モナク算筆ニモ暗クシテ世間公私
 ニ付テ無用人ト嘲哂セラル、ナリ
 心底ニ確乎トシテ忘法セザルナリ
 身ニ習ヒ得タル詩文書學等乃至一切ノ
 藝術ヨリ俳優者ノ藝能ナリ
 能ク人ニ文明書學ノ道理ヲ説明シテ倦
 ズ誇ラズシテ訓誨スルナリ

厭 急 緩 走 歩 躓 疲

心ノ好マザルニテ物事ニアクト云フ意
 ノ字也
 事ヲ早クスルナリ又俄思ヒ立ニスル様
 ニ濡レシ物ノ乾クヲ待ヌ如キヲ云フ
 心靜ニ氣長ク持テ先ヲ越レ後ル、ヲ念
 ニ掛ザルナリ
 疾ク趨ルニテ乃チ足早ニハシルナリ
 途ヲ行ニ足ヲ運ビ往クナリ
 石ヤ木ノ根ニツマツキタフルナリ
 氣カワカレテ作業か止メタクナル也

無益

有用

珍

賤

弄

棄

世ノ為ニモナラス人ノ為ニモナラス亦

我為ニモナラヌ徒ラ事ナリ

世間ニ於テ大ニ益ニナルモノナリ

金銀珠玉重器或ハ平常ノ品ト異ナリ

種類ヲ云フナリ

下品ノ物ニシテ卑劣ナル事ナリ

諸ノ器物ノ心ニ欲スルヲ得テ愛翫スル

ナリ又小兒ノ偶人ヲ持チ遊ブ如キナリ

何事ニテモ廢棄スルナリ

第九

前

後

左

右

勉

惰

身體ノ向フ方ノ顔面ヲ云フナリ

身軀ノ背脊ニナルヲ云フナリ

身軀ノ東ニ向ヘハ北。西ニ向ヘハ南。北ニ

向ヘハ西南ニ向ヘハ東ナリ

身軀ノ東ニ向ヘハ南。西ニ向ヘハ北。南ニ

向ヘハ西北ニ向ヘハ東ナリ

勤務ナリ公私ノ役ニ在テ其任職ノ業ニ

精念スルナリ

心弛ミテ精念ナラズ公私ノ事モ等閑ニ

勤學等ニモ勵ビサルナリ

難 湯 焯 遅 破 堅 張 短 鈔

何事ニテモ容易ク成就シ難キナリ
 成リ安ク出来ヤスキニテ容易ナルナリ
 速カナルナリ手間ノ取ヌヲ云フ
 日間取リテ緩々スルナリ
 損ジ碎ケルナリ乃チ物ノ破損スル
 物ノ強クシテ丈夫ナル
 タケノ永ク延ビタルニテ切目ナク物ノ
 ツバキタルナリ
 丈ノ不足ナルニテ尺ノ物成バ尺ナキ也
 力量アリテ物事ニ丈夫ナルナリ

弱 優 勝 剛 柔 曲 折

力ナクヨハシキニテ品物ナレバ損
 シ安キモノヲ云フ
 心寛ヤカニシテスグレマサリタルナリ
 及バヌフニテ品物ナレバヨカラヌヲ云
 フ是優劣勝ナド對スル字ナリ
 勇力アリテ内外ノ事情ニ觸テ心撓マ
 折ケザルナリ
 温和ノ事ニテ物ニ逆ハラヌナリ
 正直ナラズシ屈ミ曲リタルナリ
 オレクヂケルニテ物ヲ持ニカタヘズシ

逆撓

テ中途ヨリ切レタツナリ
力量盡テ持シモノ、ユルミ属ムナリ
順直ナラズシテ物ニサカラフナリ

秤目

第十

一厘八十毛ヲ云フ	一分八十厘ヲ云フ
一匁八十分ヲ云フ	一貫目八千匁ヲ云フ
一厘八十毛ヲ云フ	一分八十厘ヲ云フ
一寸八十分ヲ云フ	一尺八十寸ヲ云フ
一丈八十尺ヲ云フ	
一勺八十才ヲ云フ	一合八十勺ヲ云フ

尺名

外目

地割

道程

一斗八十升ヲ云フ	一斗八十升外ヲ云フ
一斛八十斗ヲ云フ	
一坪八六尺四方ヲ云フ	又一步トモ云フ
一畝八三十歩ヲ云フ	一段八十畝ヲ云フ
一町八十段ヲ云フ	
一町八六十間ヲ云フ	一里八三十六町
ヲ云フナリ	

連語解終

明治九年三月五日御届
同 月二十日 刻成

著 者

吉見重三郎

京都府下平民

上京第五區丸太町堀町下橋町五番屋敷住居

京都府下平民

出版人

遠藤平左衛門

京都府下平民

下京第五區富小路三條下朝倉町五百四十七番屋敷住居

辻本九兵衛

下京第四區柳馬場三條下榎屋町九十三番屋敷住居